

2021年度委員会事業報告書

グループ名 地域グループ 委員会名 豊川危機管理委員会

担当副理事長 寺部 圭一
委員長 杉本 考優
副委員長 寺部 規矩也
総括幹 戸苅 基志
拡大幹事 石塚 卓也
運営幹事 小川 雄介
広報幹事 富田 浩充
萩原 一輝
アドバイザー 鈴木 孝志



【担当事業及び担当例会】

担当例会: 10月公開例会・豊川コンファレンス及び、豊川コンファレンス危機管理フォーラム

担当事業: 豊川市社会福祉協議会との防災協定の締結

【実施効果及び成果】

担当例会について: 2021年度の豊川青年会議所が何を行ってきたのか、参加して頂いたメンバーやゲストの方々には理解が深まったと思います。また危機管理フォーラムでは国土強靱化委員会委員長の豊田啓勤君を講師として招き、本年度締結した社会福祉協議会様との防災協定の意義や効果をメンバーやゲストの方々に落とし込むことが出来たと考えております。

担当事業について: 現在、日本青年会議所では各地域の社会福祉協議会と青年会議所の間にて、主に災害発生時のボランティアセンターの設立及び運営の円滑化を目的とした防災協定を推進しております。当委員会ではそのような日本青年会議所の意向も踏まえ、豊川青年会議所に必要な協定であると考え、協定締結に向け豊川市社会福祉協議会様との調整を行い、2021年度無事防災協定の締結とあいなりました。

この協定締結の結果、今後豊川市社会福祉協議会様には豊川青年会議所の顧問相談役となって頂く事となり、今後継続的な防災体制の構築への一助になると考えます。

【反省並びに今後の課題】

担当例会について: 例会の目的が活動の報告及び周知であったにも関わらず、非常に低い出席率となってしまいました。特に各パートを担当する委員会メンバー以外の出席率が極めて低い点は各委員長への働きかけ等が弱かったことが原因だと思います。

担当事業について: 豊川市社会福祉協議会様と協定を結んだだけでなく、防災担当者同士

で連絡を取り交わす、お互いの事業に参加し合う等の血の通った交流があって本当に意味のある協定になると思います。

【委員長所見】

本年度、当委員会はまず何をすればよいのか、という手さぐりの状態からのスタートになりました。当初は自衛隊や警察署、市の防災課等との協力体制を構築する事が大事かと考えておりましたが、日本青年会議所の国土強靱化委員会に出向し、実際に Jaycee として災害対応を行ったメンバーの体験談や、社会福祉協議会様との協定の話などを聞くにつれ、まずはこの社会福祉協議会様との防災協定の締結とその意義をメンバーに落とし込むことが大事だと考えるに至りました。

結果としては社会福祉協議会様との防災協定の締結に至り、また豊川コンファレンスにて、実際にこの協定を元に LOM の理事長として災害対応に当たられた経験を持つ豊田委員長をお招きさせて頂き、「出向先から LOM に持ち帰る」を体現する事が出来たと思っています。

1 年半委員長として活動させて頂き、貴重な経験を積ませて頂いた事ありがとうございました。

【担当室長所見】

ゴールが見えにくい内容でしたが、委員長自身が出向先で答えを見つけてからは、「ゴールではなくスタートラインを作る」といった内容にシフトしました。災害が懸念される地域の LOM として、どのようなことができるのかを被災地 LOM から学ぶ設営にすることで改めて「災害時になにができるか」を検討していくきっかけになったと感じています。災害担当理事の配置なども実施することになりました。今後さらに検討していく事も多いのですが、被災時の行動の指針のスタートラインを整備できました。